

「(A) 医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」選定結果一覧

選定件数: 10件

No.	大学名	国公私	プログラム名称	養成する専門分野
1	東北大学	国立	世界で競い合うMD研究者育成プログラム	基礎医学及び社会医学全般
2	群馬大学	国立	卒前・卒後一貫MD-PhDコース	解剖学、生理学、生化学、薬理学、細菌・ウイルス・寄生虫学、衛生・公衆衛生学、病理学、法医学
3	東京医科歯科大学	国立	シームレスな次世代研究者養成プログラム	基礎医学全般
4	山梨大学	国立	リエゾンアカデミー研究医養成プログラム	社会医学を含む基礎医学／生命科学全般
5	滋賀医科大学	国立	産学協働支援による学生主体の研究医養成	解剖学、生理学、生化学、薬理学、病理、法医学、公衆衛生学全般
6	神戸大学	国立	基礎・臨床融合による基礎医学研究医の養成	基礎医学分野全般
7	愛媛大学	国立	医学科大学院からの基礎研究医養成コース	基礎医学全般
8	熊本大学	国立	柴三郎プログラム:熊本発 基礎研究医養成	発生学、再生医学、組織・解剖学、エイズ学、ウイルス学、細菌学、免疫学、病理学、代謝・循環基礎医学、生理学、生化学、薬理学
9	札幌医科大学	公立	死後画像診断力のある死因究明医養成プラン	法医学、診断病理学、放射線診断学
10	順天堂大学	私立	基礎研究医養成のための順天堂型教育改革	解剖学、生理学、生化学、細菌学、寄生虫病学、免疫学、薬理学、病理学、衛生学、公衆衛生学、法医学

(A) 医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成
選定取組の概要と推進委員会からのコメント

		整理番号	A-2
申請大学名	群馬大学		
プログラム名	卒前・卒後一貫 MD-PhD コース		
事業責任者	大学院医学系研究科長 和泉孝志		
取組の概要			
<p>基礎医学への興味を喚起するため、群馬大学では、入学直後から基礎研究の体験実習や基礎医学研究室配属を行ってきた。また、放課後型 MD-PhD コースを設置し、研究室での指導に加え大学院講義の一部も受講可能とした。加えて、卒後研修と並行した大学院履修を可能としている。その結果、昨年度 MD-PhD コース選択者は 30 名以上となり、今年度 4 名の MD-PhD コース履修生が卒業と同時に大学院へ進学した。今回この試みを更に発展させ、卒前・卒後一貫 MD-PhD コースを新設する。履修希望者に選抜試験を行い、合格すれば一貫コース履修者とする。受講した大学院講義・演習は正規の大学院単位として認定する。卒後は臨床研修と並行して研究を継続し、学位取得後に特任助教（仮称）として採用する。特に法医解剖医志望者は認定医資格取得を目指す。本プログラムを通じ基礎医学研究医及び法医解剖医の養成を図る。</p>			
<p>推進委員会からのコメント ○：優れた点等、●：改善を要する点等</p>			
<p>○基礎医学と法医学の領域を志す医師免許取得者の減少を医学部時代の教育課程にあるととらえ、卒前・卒後の一貫プログラムを提案している。</p> <p>○明確な課題と適切な対応策が示されている。</p> <p>○特に必要とされる法医学領域の人材育成を重視している。</p> <p>○医学科 3 年生または 4 年生に大学院入学選抜と同等の基準で選抜を行う点が具体的である。</p> <p>○履修者に対する多角的支援が可能な運営体制と思われる。外部評価者を含めることで客観的評価が期待できる。</p> <p>○終了後のポストを学長裁量または研究科長裁量のポストで確保することは現実的である。ただ、受入れ目標人数 10 名でも対応可能か。</p> <p>○組織レベルでの具体的なキャリア支援策が提示されている。</p> <p>○特任助教への採用の可能性を明確化している。</p> <p>●初期臨床研修を包含するプログラムであり、運営や評価には研修統括担当者も参加することが望ましい。</p> <p>●学部卒業時の進路変更希望（大学病院以外での初期臨床研修など）への対応策が不明。</p> <p>●医学科在学中に医学科のカリキュラムと大学院のカリキュラムを同時に履修し、単位を取得することは可能か疑問。</p> <p>●年間 2 名という少ない受入人数に対して、経費面で高比率を占める Ai センターを具体的にどう活用するのか、教育内容の特色や履修科目等からは明らかでない。</p> <p>●大学院博士課程の早期修了制度（4 年→3 年）については、優れた研究業績を上げた者を対象としており、コース履修者が必ず早期修了できるものではないことに留意すること。</p> <p>●臨床研修と大学院教育を並行させる場合は、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うなど、臨床研修及び大学院教育双方に支障が生じないように十分に配慮すること。</p>			